

《担当者名》○鎌田樹寛 t.kamada@hoku-iryu-u.ac.jp 坂上哲可 児玉壮志 桜庭聡 依田泰知

【概要】

本講義は、DP3に該当する科目である。具体的には、職業リハビリテーションの国際的背景、我が国の職業リハビリテーション施策の特徴、キャリア発達の理論、就労支援の現状と実際について学修する。加えて、就業援助に関わる作業療法(士)の役割について理解する。

【学修目標】

一般目標

職業リハビリテーションの国際的背景や理念を踏まえ、わが国の施策の特徴や課題、キャリア発達の理論を理解することや、就労支援の実際(障害特性ごと)に対する作業療法や作業療法士の役割について、理解できることを目標とする。

行動目標

1. 職業リハビリテーションに関する国際的な理念・歴史を説明できる。
2. 日本の職業リハビリテーション施策の特徴を説明できる。
3. 日本の就労支援の課題が説明できる。
4. 職業リハビリテーションにおいて、作業療法士の役割を説明できる。
5. 障害特性から見た就労支援の特徴を説明できる。
6. キャリア発達の理論を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	就労支援の知識(1)	1. オリエンテーション 2. 職業リハビリテーションの国際的な理念・歴史や動向を学ぶ。	鎌田樹寛
2	就労支援の知識(2)	1. 日本の職業リハビリテーション施策の特徴を学ぶ。 2. 日本の就労支援の現状について学ぶ。	鎌田樹寛
3	就労支援の知識(3)	職業リハビリテーションでの作業療法士の役割について学ぶ。	鎌田樹寛
4	就労支援の実際	障害特性(身体障害)から見た支援の実際について学ぶ。	坂上哲可
5	就労支援の実際	障害特性(精神障害)から見た支援の実際について学ぶ。	児玉壮志
6	就労支援の実際	障害特性(発達障害)から見た支援の実際について学ぶ。	依田泰知
7	就労支援の実際	障害特性(高次脳機能障害)から見た支援の実際について学ぶ。	桜庭聡
8	就労支援の知識(4)とまとめ	キャリア発達の理論について学ぶ。	鎌田樹寛

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 100%

【教科書】

特に指定しない(適宜資料を配布する)。

【参考書】

能登真一 編 他 「作業療法評価学第3版」 医学書院 2017年
 松為信雄 菊池恵美子 編 「職業リハビリテーション学(改訂第2版)」 協同医書出版社 2006年
 平賀昭信 岩瀬義昭 編 作業療法全書 「職業関連活動」 協同医書出版社 2009年
 その他必要があれば、講義の中で紹介する。

【備考】

- ・配布資料等は、manabaにアップする（鎌田）。
- ・質疑応答、感想等のフィードバックは、manabaを用いる（鎌田）。

【学修の準備】

上記参考書や地域作業療法の教科書で、「就労支援に関する章」を予め読んでおくこと(予習・復習各80分)。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP3) 作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

鎌田樹寛（作業療法士）、坂上哲可（作業療法士）、児玉壮志（作業療法士）、桜庭聡（作業療法士）、依田泰和（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

実務経験（精神障害・身体障害・発達障害・地域等）を踏まえ、リハビリテーションや作業療法の基盤理念の下に、科学的根拠に基づく知識を伝達する。